

19/2/14 名古屋城全体整備検討会議天守閣部会(第 16 回)

終了後、西野所長のぶら下がり 名古屋市民オンブズマンによる文字起こし

記者：じゃあよろしくをお願いします。

あの、今日あらためてまず冒頭に天守解体のことを報告されましたが、今後あらためて解体に向けたスケジュールですね、やらないといけないことをどのように進めていくのか、予定を教えてください。

西野：解体に向けてはですね、文化庁の方からは石垣にダメージを与えない、そういうやり方をですね、説明できれば、検討するというふうに言っていていただいておりますので、そういった資料、今日、部会でもですね、基本的な考え方は、すでにもう部会、この天守閣部会にも示して、今日改めてご説明させていただきました。

それに基づいて、まあ資料をですね整えまして、また天守閣部会、また石垣部会の方にもご説明し、ご意見をいただいた上で、文化庁の方に提出していきたい。まあそういうふうに考えております。

記者：今のスケジュールでいうとどのような時期になるのですか

西野：5月の文化審議会にかけていただいて、許可をいただくと。いうことがスケジュールになると思いますので、まあ少なくとも4月にはですね、文化庁の方に提出をしていく必要があるんじゃないかというふうに思っております。

記者：一方あの石垣部会ってこのところ開かれていない点が気になるのと、もし仮に石垣部会からご意見をこれから聞いて修正が必要な場合、どれくらいの間に説明いくのでしょうか。

西野：まああの、石垣部会の先生方にはですね、状況のご説明はしておりますので、あの日程調整等ですね、今しておるところでもございますので、石垣部会の先生方からのご意見をまあいただいてですね、当然、そこで修正が可能であれば修正をして、その上で、4月に提出すると、そういうなことになろうかと思えます。

記者：すいません、この石垣の影響についてなんですけども、リバウンドによって石垣の状態が1ミリ上昇するであったり、いろんな影響が書かれてますけども、これによって石垣が破損するであったり、損傷するようなことは、ないというふうに考えてよろしいのでしょうか。

西野：まあ私どもとしては影響は非常に小さいというふうに考えておりますので、ただ、その中でもやはり石垣はですね、まあ戦争でまあ焼けているとかあるいははらんでいる部分もございますので、そういうあの方法を取った上でもさらに今日も説明したモニタリングということで、石垣に影響が出てないかどうか、きちんとそのまあ確認をしながらそして対処しながら工事、いわゆる解体工事を進める。そういうな考えでおります。

記者：石垣部会がですね、復元計画については、認識の一致が得られずに、文化庁から受け取ってもらえなかったという経緯があるんですけど、今回の解体の案についても、認識の一致がなければいけないというものなんでしょうか。

西野：えっと、まあ今回解体については私どもとしては今の天守の耐震性が低くですね、このままずっと放置するわけにはいかないと。まあいうことで、まあ、復元とは別の形ですね、まずあの解体を、ということでまあ文化庁の方にまあ、市長がお願いをしたというふうでございます。それに対してまあ文化庁は、石垣にダメージのないようにというふうに言われておりますので、そういったところをきちんと説明できれば、まああの、復元とはまた別の形でまあご検討いただけるんじゃないかというふうに思っております。

ただその石垣にダメージを、が、与えないかという面につきまして、やはりあの、地元の有識者、いわゆる天守閣部会や石垣部会の先生方ですね、ご了解をいただいていくことは必要であろう。というふうに考えています。

記者：解体の話ですけど、今日は概ね OK が出たと思うんですけど、石垣部会の方でこれじゃダメだという強硬な意見が出た場合ですね、修正が時間が間に合わなければ、出せないということもあり得るということですか

西野：そうですね、あの、まあ、えー我々としては、あの一、石垣部会の先生方にもまあえー、一定の御了解をいただいた上で文化庁に持って行く、というふうに考えております。まあ、あの一どういうご意見がいただけるかわかりませんが、まああの一場合によってはですね、そういうご意見を含めて、まあ文化庁にご説明をしてと、いうふうになる可能性もあるなと思いますけども。はい

記者：あとごめんなさい、振動が少ないような工法でっていうんですね。いわれましたが、イメージ、どんなかたちになるのですか？天守閣を

西野：あのカッティングといいますか、壊すのではなくて切っているということで、そのまあ破壊するのではないものですから、まああのダメージがですね、小さくできるというのがまあ簡単に言うとそういうことになるんだろうと。はい。

記者：そうすると、今後撤去したモノの再利用というかそれを何ですかね。また別の方法で利用することも考えていらっしゃるということですか。

西野：あの、いわゆるその天守全体をそのまま再利用するとかいうことはなかなか難しいと思いますので、そういう解体する中で、部分的にあの活用していく、そういう計画はできるんじゃないかと思います。

記者：すいませんありがとうございます。